

東濃社会教育だより

— 研修会 —



岐阜県恵那県事務所
振興防災課 振興防災係
社会教育担当: 牧野 賀一
〒509-7203
恵那市長島町正家後田 1067-71
TEL: 0573-26-1111 内線 210

東濃地区社会教育振興協議会 研修会を開催しました

研修会テーマ

「人とのつながりで育む地域づくり」

- ◆ 日にち 8月20日(木)
- ◆ 会場 恵那文化センター
- ◆ 参加者 東濃5市の社会教育関係者



<公民館職員の表彰>

*全体では、144名の方々に参集いただきました。今年度、はじめ
て高校生に地域と関わる課題研究の発表をお願いしました。参加者からの感想は、非常に好評で
した。社会教育委員、公民館関係者、学校関係者、行政関係者の皆様に参加いただきました。東濃
東部の高校の先生方も参加いただきました。参加者で一番多かったのは、地域学校協働活動推進
員や学校運営協議会委員、先生方(高校関係者も含む)も含めた学校関係者の方々(70名)でし
た。お忙しい折、参加いただいた皆様、ありがとうございました。

研修会の内容と感想

<事務局による東濃地区5市の活動報告(学校運営協議会、地域学校協働活動について)>

【概要】

多治見市:市之倉小学校の取組 土岐市:肥田中学校校区、土岐津中学校校区の取組
瑞浪市:瑞浪南中学校の取組 恵那市:東野小学校の取組 中津川市:西小学校の取組

【参加者の感想】

- コンパクトに東濃全体の活動が紹介されていて感心した。これらの活動が「学校の応援団」ではなく地域
づくりの大元になっていけば永く続くと感じました。
- 学校と地域の関わり方について学ばせていただきました。地域の方と学校職員が一緒に熟議をしたり、地域活
動に子供がボランティアとして参加したり、地域の方が教育活動に参画されたりと、好事例をわかりやすく説明し
てあり参考になりました。

<恵那農業高校 学校紹介・課題研究発表>

3チーム、9名の生徒の皆さんによる発表

- 朴葉寿司プロジェクト～地域の伝統食の継承と発信～
- シクラメン栽培発祥の地・種苗生産日本一の恵那・中津川
を未来へつなぐ

【参加者の感想】

- 地域に根付いている生産、研究でとても良かったです。何より地
域の課題に向かい合い、郷土の文化を大切にしているところ(シクラメン、朴葉寿司)ますます発展してほし
いと思います。
- 高校生のイメージを変える発表でした。高校生の皆さんが地域に無くてはならない存在となる未来を想像し
ました。
- 探究的な学習が行われていて、大変興味深い内容でした。自分たちで疑問をもったことに対して、納得いく
まで調べていくことで、それが地域起こしにつながるところが素晴らしかったです。



<農高生徒の皆さんの発表の様子>

<実践発表1> 「中津川文化会館・文化講座『創造と伝承』」

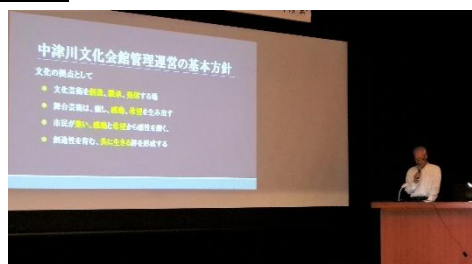
社会教育委員会 会長 木村 哲夫 様

【概要】

中津川文化会館で行われている「文化講座」の特色や内容。伝統文化の継承、後継者育成の課題について。

【参加者の感想】

- 取り組みについて映像を交えた発表で、担い手の継承や文化的価値が視覚を通して分かりやすく伝わってきました。
- 文化講座の内容やその取組について知ることができてよかったです。今回の発表をもとに、今ある講座の吟味や新しい講座の生み出し、新規受講者の獲得等について考えるよい機会となりました。



< 伝統文化継承について語る木村さん >

<実践発表2> 「地域と子どもたちの関わりについて」

瑞浪市稲津公民館 館長 工藤 将哉 様

【概要】

稲津町の様々な行事における子どもからお年寄りまでをまき込む仕組みとともに、中学生ボランティアの活躍について。

【参加者の感想】

- 瑞浪南中学校の活動報告がとても印象に残りました。地域のイベントを中学生が作り上げることが大変羨ましく思いました。繰り返されることで、大人と子供が共に地域の活力を生み出していると思いました。学校対応などが気になり校長先生に実情を伺いました。生徒にも地域にも子供たちの自主的なボランティアが、当たり前のように楽しんで行われることが分かりました。
- 公民館が地域の人と子どもをつなげて核になっている。活動だけでなく、活動を通して子どもたちが成長していること、地域がさらに育っていること、結びの言葉が印象的でした。



< 子供達の活躍について語る工藤さん >

<意見交流会>

小グループ（5～9名）に分かれて意見交流会（全18グループ）を行いました。各グループでは活発な意見交流をしていただきました。

【参加者の感想】

- 現場の好事例や悩みが直接聞けたり話せたりしてよかったです。実際に話す機会があり、ありがたかったです。
- 時間が短く感じました。他市の様子が聞けてとても参考になりました。夏休みに、学校運営協議会と教職員の交流会があるのはいいなと思いました。
- 高校生の取り組みや若者の話を聞こうとする雰囲気がグループにあったために、参加者個人が話を独占することもなく、前向きに将来を見据えて取り組んでいる高校生の話を中心に交流でき充実感がありました。



< 意見交流会の様子 >

< 令和8年度東濃地区社会教育振興協議会 >

事務局は恵那県事務所振興防災課及び恵那市にあります。 FAX 0573-25-7129
TEL 0573-26-1111 (内線210) Eメール: makino-yoshikazu@pref.gifu.lg.jp